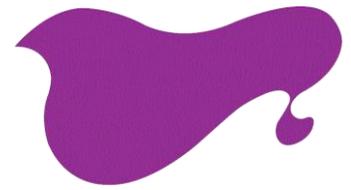


かん しゃ しん

感謝心



社会福祉法人 峰栄会

住所：〒435-0056 浜松市東区小池町 38-1

TEL：053-434-5710

FAX：053-434-5108

HP：http://houeikai5710.jp

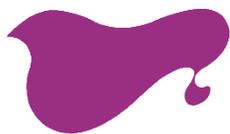
思想しっつ 祈りしっつ 共に生きる



～今回の注目記事～
5 ページ
今年度新人職員紹介
&
先輩職員の振り返り

～表紙の写真～

総合福祉施設きじの里は、設立 10 周年を迎える事が出来ました。表紙の写真は、きじの里の外観の写真を参考に、ショートステイのご利用者と職員とで作成した壁画です。今後も、ご利用者の方達と共に歩むことができるよう職員共々、切磋琢磨しサービスの質の向上に努めて参ります。



社会福祉法人 峰栄会

30 周年のご挨拶



総合福祉施設 さぎの宮寮
施設長 高杉 威一郎

感謝心



さぎの宮寮

さぎの宮寮設立30周年を迎えるにあたり、これまで長年にわたり、さぎの宮寮をご支援くださいました皆様方に心より感謝申し上げます。

社会福祉法人峰栄会は平成2年12月11日に法人認可（平成2年12月15日設立登記）を得て、平成3年4月にさぎの宮寮は開設されました。高齢者保健福祉推進十カ年計画（通称：ゴールドプラン）に沿った事業の推進として、静岡県内では初めて特別養護老人ホームにショートステイ（短期入所生活介護）が併設された施設として注目の中スタートしました。

住み慣れた地域で生活を支える在宅福祉として、翌平成4年には在宅介護支援センターさぎの宮寮を開設し地域の要介護者、介護者、地域福祉の支援が始まりました。また、配食サービスや入浴サービス等を積極的に行い、在宅介護を展開してまいりました。

地域のニーズに対して正面から向かい、時代にあったサービスを実践させていただきました。平成12年の介護保険法に向けて居宅介護支援事業所の開設、平成13年には特別養護老人ホームさぎの宮寮の増床（定員80名）、認知症共同生活介護を開設しました。平成19年には地域包括支援センターさぎの宮の開設、平成20年12月に別館の新築工事を行い小規模多機能型居宅介護事業、共同生活援助事業（障害福祉）、放課後児童健全育成事業を開設し、現在のさぎの宮寮の姿となりました。

社会福祉法人峰栄会さぎの宮寮として、平成23年3月には御下賜金を拝受しました。拝受理由としては、利用者の意向を尊重し、多様な福祉サービスの総合的な提供に努めたことなどが拝受理由とのことでした。総合福祉施設として、福祉の制度論から実践論へと事業を展開してきたことの評価としての拝受理由は、初代理事長高杉益次の訓示を職員が堅実に実践したことの賜物と感じております。

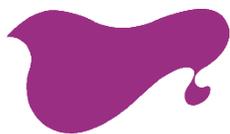
開設の際に、初代理事長から職員に対して訓示が伝達されました。

「感謝心（かんしゃしん）」

- 一、人生の善き先輩者に感謝の心を持ち、毎日を敬老の日にする。
- 一、在宅で介護されておられる方々に感謝し、在宅介護者は施設職員の師であることを自覚する。
- 一、一人でも多くの善き人生の先輩者と巡り会う努力をし、その巡り合いに感謝する。

この訓示「感謝心」から、さぎの宮寮は始まり、地域福祉の拠点となる福祉施設を実践してまいりました。30年という節目に立ち、多様化・複雑化する地域の課題や生活の課題に正面から向かい合い、地域共生社会の実現に向け職員一同「感謝心」をさらに強く持ち邁進してまいり所存です。

末筆になりますが、利用者様、家族様、ボランティア関係の皆様、行政関係の方々、地域の方々、自治会を始め、多くの皆様に支えていただいていることに感謝申し上げ、引き続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



20 周年のご挨拶



さぎの宮グループホーム
管理者 西田美保

20 周年を迎えて



さぎの宮寮

さぎの宮グループホームは、平成 13 年 4 月に開設され、今年で 20 周年を迎えることが出来ました。これも、入居者、ご家族、地域の方々、各関係者の暖かいご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝いたします。当グループホームでは、認知症高齢者が家庭的な環境の中で共同生活を送ることが出来るよう、食事や入浴等の日常生活の援助、自立及び介護をする家族の支援を行うことで、認知症状の軽減、情緒の安定を図り、自立自尊の人間的な回復及び福祉の増進を図ることを目的とし、この 20 年間変わらず行ってきました。

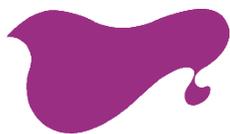
毎日 3 食のご飯とみそ汁を、昼食には副菜も一品、入居者と相談をして一緒に作っています。食事に使用している食材は、近所のスーパーで入居者と一緒に買い物をしたものです。その他にも、洗濯物をたたむ、テーブルを拭く等、普段家庭で行っていた家事を入居者の持っている能力に合わせて行っていただいております。

グループホームは、4 階に開設されており、天気のいい日には屋上に出て外気浴をしたり、菜園や花壇で野菜や花を育てています。菜園の野菜は、以前入居されていた方のご家族がボランティアで来て下さり、入居者と一緒に作っています。実った野菜は収穫し、入居者とともに調理し、収穫祭を行いおいしくいただいております。また、地域の方々には、祭りや行事に参加させて頂き、認知症高齢者が地域の中でその人らしく生きられる手助けをしていただいております。

グループホームでは、毎年自己評価と外部評価を実施しております。主体的に自己評価に取り組み、そこに第三者による客観的な外部評価を重ねることで、事業所の優れている点や工夫点、改善を要する点などを明らかにしております。また、運営推進会議を年 6 回開催しております。会議にて活動状況を報告し、自治会長や民生委員、行政やご家族代表の方による委員より助言を頂き、より良いサービス提供に繋げております。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染者が増加しております。入居者が感染するリスクを減らすため、買い物は職員のみが行き、受診外出は医師と相談をしております。また、地域の祭りや行事への参加も控えています。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた状況ではありますが、認知症高齢者が家庭的な環境の中で生活することができるよう、また地域とのつながりを絶やすことのないよう職員一同努めて参ります。

今後ともよろしく願いいたします。



10周年のご挨拶

0歳から100歳まで



総合福祉施設 きじの里
施設長 加藤 美恵子

きじの里は、平成23年4月に浜北区染地台に開設いたしました。周りに自然が多く緑豊かな公園に隣接する立地。染地台、内野台地域をはじめ、多くの皆様のご理解・ご協力、温かいご支援のもと10年の節目を迎えることができました。誠にありがとうございました。

甚大な被害をもたらした東日本大震災直後の混乱、不安の中でのスタート。特別養護老人ホームと保育所との合築。「1つ屋根の下、1つ玄関」での運営。開設から高齢者、児童の職員とわけるのではなく「きじの里全体で運営を行う」という考えを持ち、「0歳から100歳まで地域で共に暮らし続けられる施設を目指して」行ってきました。

現在、新型コロナウイルス感染症流行のため、ご利用者に感染させない、感染を拡げないためにさまざまな点でご協力をいただいております。長引くコロナ禍の中でも、多世代交流、地域との関わり、ご家族との大切な時間、つながりを絶やすことなく共に暮らす生活者として関わっていきたくと考えております。今後ともどうぞ、よろしくお願いいたします。

きじっ子とともに



認定こども園 きじの里
園長 鈴木 桃代

認定こども園きじの里は、平成23年、認可保育園として開設致しました。早いもので10年という大きな節目を迎えることができ、地域の皆様、保護者の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。開園当時は、お年寄りと園児がどのように交流をしていったら良いか、試行錯誤していた保育者達をよそに、子ども達のかわいらしい笑顔と会話でたくさんの笑顔が生まれたことを思い出します。平成27年、子ども・子育て支援新制度の制定と同時に幼保連携型認定こども園へ移行し、多様化する保育ニーズに応じた保育を実践してまいりました。

「0歳から100歳まで地域で共に暮らし続けられる施設を目指して」という理念のもと、緑豊かな環境の中で、特別養護老人ホームのおじいちゃん、おばあちゃんから温かい心をいただきすくすくと育つきじっ子達。今後も、ここで育つ子ども達がたくさん輝く場所であり続けることを思い描きながら、地域、そして保護者の皆様に安心して利用できる施設、地域に開かれた施設であり続けられるよう努力してまいります。

令和3年度新人紹介

今年度、当法人では新規学卒者が1名入社いたしました。新社会人のスタートを切った1名をご紹介します。

Q1.あなたのモットー（心掛けていること等）を教えてください。

Q2.今後の目標を教えてください。

A1.私は、どんな時でも明るく笑顔でたくさんの利用者様とコミュニケーションができるように日々心掛けています。

A2.私は、職員の方や利用者様など誰からも信頼される人になれるように、目標に向かって毎日頑張っていきたいです。



あんま ひな
安間 陽菜
ケアワーカー



先輩職員の振り返り

昨年度入社した先輩職員に、この1年を振り返ってもらいました。

Q.1年を振り返って…（心に残ったエピソード、さらなる目標など…）

石川 由梨奈（管理栄養士）

自分が立てた献立で利用者様においしいと言ってもらえたり、笑顔を見ることができたりしたときは、とても嬉しかったです。この1年で多くの出会いと別れを経験し、利用者様の人生の終盤に関わらせていただいていることを実感しました。その貴重な時間に喜びや笑顔を少しでも増やせるようにこれからもがんばります。

柏田 遥香（保育教諭）

この1年を振り返ってみて、毎日が学びで沢山の1年でした。心に残ったエピソードは、子ども達の成長を感じることが出来た時です。今までは出来なかったことが何回も練習していくうちに出来るようになった時、子ども達と共に喜びを共有できたことが嬉しく印象に残っています。これからも成長を身近に感じ、共有できたら良いなと感じます。

伊熊 朋葉（ケアワーカー）

入社したばかりの頃は、利用者様に声が小さいと言われていましたが働くにつれ、声も自然と大きくなり聞き返される事が少なくなりました。昔から声が小さいと言われていたので「声が聞き取りやすくなった」と言われた時は、すごく嬉しかったです。記録の報告書や利用者様に説明する時に慌ててしまい、分かりやすく説明ができないので5W1Hに気を付け分かりやすく説明できるようにしたいです。

伊藤 虹歩（ケアワーカー）

私が、誤薬をしてしまった時に、ユニットにいる職員さんが話を聞いてくれたことが嬉しかったです。誤薬をしてしまったことは、大変なことだけれど、誤薬事故から学んだことも沢山ありました。焦らず正しく服薬する事や、利用者様の顔をしっかり見ることを学びました。これからも学んだことを活かせるように頑張りたいです。

天野 瑞基（保育教諭）

初めは近づくこと嫌がる子どもに毎日「おはよう」と声掛けを行う事、保護者の方に挨拶を行い子どもの様子を伝え、より子どもの特徴を知る事、子どもとの関わり方を少し変える事で子どもから「おはよう」と走って来てくれるようになりました。自ら積極的に関わる大切さを知りました。今後も、自ら積極的に行動していきたいです。

コロナ禍での

さぎの宮寮・きじの里の取り組み・行事・日常！

きじの里放課後児童クラブ



七夕飾りを作成しました！
こども達の願いが届くとい
いなあ～！！

認定こども園きじの里



交通安全教室・プール開き
をおこないました！
コロナ禍でも、こども達はみ
んな元気いっぱいです！！

さぎの宮寮

まごころ弁当



ゾーニング訓練



女性職員だけでも
組み立てることが出来るように、
改良!!訓練後、意見を出し合
い、さらに改良をしています。

こども食堂の代わりに、お弁当をお届け!!
メニューはその月の担当者が考えます。

にっぽん旅ごはん



神奈川県編

コロナ禍で、行事や行楽が中止に・・・

にっぽん旅ごはんを題し、
毎月栄養士が各地の郷
土料理を企画中。

施設の中で楽しんでいた
だけるように、駄菓子屋さ
んを開店。

駄菓子屋さん



公私共に輝いている職員を紹介します。

Q1.名前と所属部署を教えてください。

A1.社会福祉法人峰栄会 地域包括支援センター さぎの宮の

あらい ゆきよ

《新井 幸世》です。

Q2.当法人に勤めて何年になりますか？

A2.今年で9年目です。



Q3.あなたのきらきらポイント(趣味や頑張っていること等)を教えてください。

A3.

趣味は、サイクリング・キャッチボール・ピアノを弾いたり、トランペットを吹いたりすることですが、今は子供と一緒にやる家庭菜園が一番楽しいです。業務では、地域への情報発信に力を入れています。情報発信ツールとしてブログを活用していますぜひ「さぎの宮寮ブログ」をご覧ください。

Q4.仕事のやりがいや楽しさ、そして今後の目標などあれば教えてください。

A4.保健師は、一言でいうと「予防の専門家」です。医療や介護が必要になってはじめて出会う方が多いですが、シニアクラブやサロンなどを通して、地域の皆さんと元気うちから関わることで、本来の専門性が発揮できると感じています。

地域の皆さんの笑顔が私のエネルギー源です。これからもよろしくお願いします。

Q5.今後の目標を教えてください。

A5.地域包括支援センターの主な業務は、高齢者のお困りごとの相談窓口です。近年、複合的な課題を抱えた世帯が増えておりますが、地域とのつながりを持ちながら生活することの大切さを感じています。

地域の方向士、専門職同士、地域の方と専門職のような、タテ・ヨコ・ナナメに張り巡らされたネットワークのある地域を目指しています。

Q1.名前と所属部署を教えてください。

A1.社会福祉法人峰栄会 総合福祉施設きじの里 管理栄養士の

まつしま かな

《松島 加奈》です。

Q2.当法人に勤めて何年になりますか？

A2.今年で5年目になります。

Q3.あなたのきらきらポイント(趣味や頑張っていること)は？

A3.料理やお菓子作りが好きで、中でもシフォンケーキが得意です。他にも裁縫や編み物、絵を描くことなど、細かい作業をするのが好きです。

Q4.仕事のやりがいや楽しさについて教えてください。

A4. 食事に関わる仕事なので、やはり利用者さんが食事を食べて「おいしい」と言っていたる事が一番うれしく思います。自分が作った献立を「よかったよ！」と言ってくると一生懸命考えてよかったなと思います。仕事をしながら楽しさを見つけるようにしています。煮干しの下処理をしながら面白い形の煮干しを見つけるのが楽しみです。



Q5.今後の目標などあれば教えてください。

A5.管理栄養士になって4年たち、栄養に関することは日進月歩なので新しい情報をアップデートしながら今後も業務にあたりたいと思います。去年は「やせる」と目標にかかげ、見事体重増加に成功したので今年こそは…。

しょうどく大使

ネットヨタ静岡 株式会社様より、
寄贈。

さぎの宮寮の本館正面玄関に設置し、
来寮される方の手指消毒に使用して
おります。



空気清浄機

静岡トヨタ自動車 株式会社様より、
新型コロナウイルス対策を支える目的で
寄贈。

さぎの宮寮のオンライン面会で使用して
いるスペースで使用しております。



寄贈

苦情受付

令和2年12月1日～令和3年5月31日まで

さぎの宮寮	・・・	4件
内 容		
希望・要望		0件
苦情		1件
問い合わせ		2件
その他		1件

きじの里	・・・	0件
内 容		
希望・要望		0件
苦情		0件
問い合わせ		0件

認定こども園	きじの里	・・・	0件
内 容			
希望・要望			0件
苦情			0件
問い合わせ			0件

※ 各施設での取りまとめとなっております。詳しい内容等、
ホームページにて記載させていただいております。

～法人のホームページ～

峰栄会 浜松



新型コロナウイルスワクチンの接種状況

●お知らせ●

さぎの宮寮・きじの里に入所されている
利用者様につきましては、ほぼ全員の
方が2回の接種を終えました。職員も、
接種を開始しております。

ワクチン接種はすすんでおりますが、
感染対策は継続して行つてまいります。

面会につきましては、引き続きオンラ
インでの面会とさせていただきます。皆
様には、ご迷惑をおかけいたしますが、
何卒ご理解・ご協力を
お願いいたします。



～あとがき～

新型コロナウイルス感染症の流行により、日常生活が一変してしまいました。
新しい生活様式の一つに症状がなくともマスクの着用があります。
マスクの着用は感染予防としては大変有効なものです。
反面、肌荒れなどを実感している人も多かた...
マスクによる肌トラブルの原因は①マスク内の蒸れ、
マスク内の湿度が上昇し、過剰な湿度が肌を
ふやかせてしまい外部環境の影響を受けやすくなります。②マスクのつけ外
しなどで肌とマスクがこすれたときの摩擦によりお肌はダメージを受けます。
③マスクを外した時の乾燥。マスク内の湿度が高い一方、外した時には水分が
蒸発しやすい状態。さらに、マスクに皮脂が吸い取られ乾燥が急激に進んでし
まいます。そんなマスク荒れやトラブルを防ぐポイントは、①マスクの中の汗
はこまめに拭く。②マスクを外したら丁寧に洗顔。③お肌に合う素材のマスク
を使う。などがいいそうです。いつ、マスクを外した生活に戻ってもいいよう
に、お肌のケアもしていかななくては・・・(笑)

さて、当法人も設立満30年を迎えることができました。これからも地域に
根ざした福祉施設を目指し、日々邁進してまいります。

さぎの宮寮 広報委員

※掲載されている写真は、個人情報保護法に基づき使用させていただいております。